



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	放射性物質への安全対策表記に関する一考察
Alternative_Title	A study on the description methods of safety measures for radioactive materials
Author(s)	渡辺 雄一郎(東京電力ホールディングス), 羽野 真美(東京電力ホールディングス), 下田 哲也(東京電力ホールディングス), 半杭 真一(東京農業大学) Watanabe, Yuichiro(Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc.); Haneno, Mami(Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc.); Shimoda, Tetsuya(Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc.); Hangui, Shinichi(Tokyo Univ. of Agriculture)
Citation	第 8 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.31 The 8th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	セッション：リスク評価、解析技術
Text Version	Publisher
URL	https://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/182117
Right	© 2019 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 8 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。

放射性物質への安全対策表記に関する一考察

○渡辺 雄一郎、羽野 真美、下田 哲也（東京電力ホールディングス株式会社）、半杭 真一（東京農業大学）

1. 背景・目的

東京電力福島第一原子力発電所事故の以降、福島県産農産物をはじめとする放射性物質への安全対策が継続して取り組まれている。今回、福島牛*の安全対策に関する販売店舗上での表記に対する消費者の評価を把握することを目的とし調査を実施した。

2. 方法

本調査は、東京都内 23 区在住の 30 代以上の女性（有効回答数 71 人）を対象とし、2019 年 2 月に実施したモニター調査である。モニターは、調査期間内に指定店舗へ行き、夕食の食材として牛肉（和牛）を購入し、自宅での調理・食事後に、WEB アンケートへ回答する。調査期間中の指定店舗においては、「福島牛販売フェア」を実施しており、他県産牛に加え福島牛の購入が可能な状況とした。売り場には、表 1 に示す福島牛の放射性物質の安全対策を表記したパネルを掲示した。アンケート設問は、当日の福島牛の販売の認知、福島牛の放射性物質の安全対策についての事前認知、購入した牛肉の産地、安全対策表記に対する評価 等である。

3. 結果・考察

アンケートの結果より、3つの設問への回答から、5つの集団に分類した結果を表 2 に示す。この分類をもとに、「安全対策表記に対する評価」に関する設問『必要である』『購入につながる』について、集団毎の回答結果を考察した。

安全対策表記が『必要である』についての回答結果を図 1 に示す。「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的評価が、総計で 97%、全集団で 86%以上の結果となった。

次に、同設問『購入につながる』の回答結果を図 2 に示す。肯定的評価が、総計で 85%の結果となった。なお、産地や安全対策の事前認知が有った集団 B では、『購入につながる』との肯定的評価が約 3割と低い結果となり、「どちらでもない」の回答者 4 人のうち 3 人が、福島牛のイメージに関する設問で、安全性への不安をあげている。また、安全対策の事前認知が無いものの福島牛を選択した集団 C では、全回答者が安全対策表記について、『必要である』、『購入につながる』の両設問において肯定的評価を示している。

以上の結果より、福島牛の販売における安全対策表記は、消費者に受け入れられ、購入意思決定の後押しとなるものと推測される。

今後も、このような知見を集めて、福島県産農産物の販売促進に貢献していきたい。

* 福島牛とは、福島県内で肥育・生産された（最長飼養地が福島県）黒毛和牛を示す。

表 1 福島牛の放射性物質への安全対策表記内容

1) 放射性物質について全頭検査している事
2) 生産者の取り組みとして餌や生産環境における対策を行っている事
3) 検査結果についてHP等で公開されている事

表 2 福島牛販売の認知と安全対策の認知及び購入した牛肉の産地

集団名	福島牛販売の認知	安全対策の認知	購入した牛肉の産地	件数 (%)
A	有	有	福島牛	27 (38)
B			他県産牛	7 (10)
C	無	無	福島牛	17 (24)
D			他県産牛	2 (3)
E	無	有	福島牛	18 (25)
		無	他県産牛	
			福島牛	

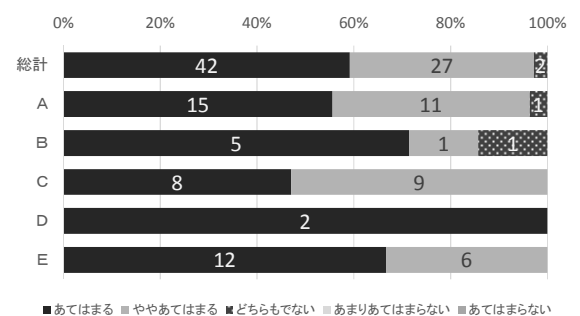


図 1 安全対策表記の結果『必要である』

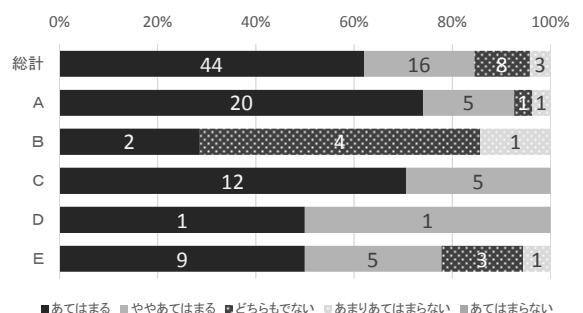


図 2 安全対策表記の結果『購入につながる』